

2012年12月13日
(平成24年)

藤沢市長 鈴木 恒夫 様

藤沢市個人情報保護制度
運営審議会会長 畠山 関之

生活保護法（昭和25年法律第144号）の規定による保護に関することに係る個人情報を目的外に提供することについて（答申）

2012年12月5日付けで諮問（第530号）された生活保護法（昭和25年法律第144号）の規定による保護に関することに係る個人情報を目的外に提供することについて次のとおり答申します。

1 審議会の結論

藤沢市個人情報の保護に関する条例（平成15年藤沢市条例第7号。以下「条例」という。）第12条第2項第4号の規定による目的外に提供する必要性があると認められる。

2 実施機関の説明要旨

実施機関の説明を総合すると、本事務の実施に当たり個人情報を目的外に提供する必要性は次のとおりである。

(1) 諮問に至った経過

東京都品川児童相談所長より、児童福祉法第56条第8項の規定に基づき、生活福祉課で保有する生活保護受給者情報の照会がなされた。児童福祉法第56条第8項の規定は目的外のために提供しなければならないことが義務付けられている場合に該当せず、実施機関の裁量に委ねられている場合に該当するため、東京都品川児童相談所長に生活保護受給者情報を目的外に提供することについて、条例第12条の規定に基づき、藤沢市個人情報保護制度運営審議会に諮問するものである。

(2) 生活保護受給者情報を目的外に提供することについて

ア 目的外に提供する個人情報

生活保護受給期間，生活保護受給対象者の氏名，生年月日，性別
イ 目的外に提供する相手方
東京都品川児童相談所長

ウ 目的外提供の根拠規定
児童福祉法第56条第8項

エ 目的外提供に対する実施機関の考え

(ア) 照会の法的位置づけ

本件の個人情報の目的外提供に係る照会は，児童福祉法第56条第8項に基づくものである。

児童福祉法第56条第8項は「都道府県知事又は市町村長は，第1項の規定による負担能力の認定，第2項若しくは第3項の規定による費用の徴収又は第5項の規定による費用の支払い命令に関し必要があると認めるときは，本人又はその扶養義務者の収入の状況につき，官公署に対し，必要な書類の閲覧又は資料の提供を求めることができる。」としており，官庁・公共団体その他のものに対する照会による報告の請求権を認めたものであるが，その照会に応じなければならない拘束力はない。

しかし，本件照会は，正当な請求権を有した東京都品川児童相談所長によって行われるものであり，受け取った情報について守秘義務が課せられている。また，費用徴収業務の適正な対応のために行うものである。

(イ) 目的外に提供する必要性

今回の照会の具体的な必要性について東京都品川児童相談所に問い合わせたところ，「調査対象者の子どもが児童福祉施設に入所しており，対象者の費用徴収額の算定にあたり，生活保護受給期間の確認が必要である。」とのことであった。

本件の目的外に提供する個人情報は，生活保護法の規定による保護に関する事務に係る個人情報であり，他の代替手段が想定し難いものである。

よって，本件の目的外提供に係る個人情報の内容と趣旨等を勘案した結果，本件の照会に応じる必要があるものと判断する。

(3) 目的外に提供することに伴う本人通知について

個人情報を目的外に提供する場合，当該個人情報の帰属者に対してあらかじめその旨を通知すべき義務が実施機関に存しているため，本人通知を行うこととする。

(4) 提出資料

ア 生活保護受給状況の照会について（依頼）

イ 個人情報取扱事務届出書

3 審議会の判断理由

当審議会は、次に述べる理由により、審議会の結論のとおり判断をするものである。

本件照会は、正当な請求権を有した東京都品川児童相談所長によって行われるものであり、本件照会の具体的必要性については、「調査対象者の子どもが児童福祉施設に入所しており、対象者の費用徴収額の算定にあたり、生活保護受給期間の確認が必要である。」とのことである。

また、実施機関では、当該情報が生活保護法の規定による保護に関する事務に係る個人情報で、他の代替手段が想定し難いものであるとしている。

以上のことから判断すると、目的外に提供する必要があると認められる。

以 上